資料－7

次期概ね5年の「水防災意識社会　再構築ビジョン」に基づく雄物川水系減災に係る取組方針（案）について

令和8年3月11日
第17回　雄物川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会

雄物川減災対策協議会
～大洪水から70年・30年～

次期概ね5年の「水防災意識社会　再構築ビジョンに基づく雄物川水系減災に係る取組方針」（案）の見直しについて

資料－7

令和8年3月11日　第17回　雄物川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会

【協議会・取組方針見直しの背景】

- 雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会※は、雄物川圏域における堤防の崩決壊や越水等に伴う大規模な浸水被害に備え、国、県、市町村が連携・協力してハード、ソフト対策を一体的かつ、計画的に推進することを目的として、平成28年5月31日に設立。
- 設立に併せて円滑かつ迅速な避難、的確な水防活動及び円滑かつ迅速な氾濫水の排水を実現するために、各構成員がそれぞれ又は連携して取り組む事項をまとめた「水防災意識社会　再構築ビジョン」に基づく雄物川水系の減災に係る取組方針（以下、取組方針という）をとりまとめ、令和7年度に見直し。
- 今般、近年5ヶ年の水害等による被害状況や新たな課題を踏まえ、令和12年度まで行う次期概ね５年の「取組方針」（案）について見直しを行う。

※ 5市2町1村（秋田市・横手市、・湯沢市・大仙市・仙北市・美郷町・羽後町・東成瀬村）に加え、秋田県・秋田地方気象台、東北農政局・東北運輸局・東北地方整備局・JR東日本（㈱）・東北電力（㈱）の機関で構成。

【近年の洪水被害の状況】

●令和5年7月洪水

- 秋田県では記録的な大雨となり、総雨量は多いところで400mmを超え、秋田市等で72時間降水量が観測史上1位を更新した。秋田市周辺を中心に降雨が集中し、太平川や岩見川などで外水氾濫や内水氾濫が発生した。
- この大雨では、これまで浸水被害が少なかった秋田市の中心市街地が外水氾濫・内水氾濫によって浸水し、床上・床下浸水が発生した。内水などの浸水状況の把握の難しさや、浸水被害がこれまで少なかった地域に対し、避難情報を自分事としてとらえないため、避難行動に結びつかないなどの課題が浮き彫りとなった。



太平川沿川の県道秋田昭和線（秋田市城東十字路付近）

●令和7年8月洪水

- 断続的に激しい雨や非常に激しい雨が降り、仙北市檜木内で総降水量319mmを観測し、48時間降水量、72時間降水量とも観測史上1位を更新した。また、大雨により仙北市を流れる檜木内川が氾濫した。
- この大雨では、仙北市に対して土砂災害警戒情報が発表された約1時間後に、上檜木内地区に避難指示、約2時間後に同地区に緊急安全確保が発令された。幸い人的被害は発生しなかったものの、急な水位上昇のため避難が間に合わなかった、指示前に避難所を開設したものの、自主避難が進まなかったなどの課題が残った。



檜木内川の氾濫状況（仙北市宮田地区）

【近年の洪水による主な課題】

- 観測史上1位の大雨を更新するなど、総雨量の増大や、それによりこれまで浸水の経験が少なかった箇所での浸水被害の発生、断続的な大雨による急激な水位上昇などを経験した。それらの特徴を踏まえた主な課題として、以下が浮き彫りとなった。
  - 内水氾濫を含めた浸水状況の把握や、断続的な大雨を踏まえた河川の水位上昇の予測など、【河川や浸水状況の監視強化及び予測の高度化】
  - 浸水が少なかった箇所での浸水など、浸水経験が少ない箇所での避難行動の重要さや、自分事化の啓発の強化など、【適切な避難行動のための地域住民への啓発の充実化】、【水害リスク情報の充実化】
  - 排水能力を上回る大雨により、浸水が少なかった箇所での内水氾濫等による浸水被害が発生するなど、【排水活動に資する基盤等の充実化】
  - 大雨による河川の急激な水位上昇や避難時間の確保、避難の時間帯等を踏まえた、【避難を促すための避難所施設の早期立ち上げ・充実化】

雄物川減災対策協議会
～大洪水から70年・30年～

次期概ね5年の「水防災意識社会　再構築ビジョンに基づく雄物川水系減災に係る取組方針」（案）の見直しについて

【取組方針の見直し】

●これまでの取組の継続に加え、近年の洪水の課題を踏まえ、新たな取り組みを追加するなど見直しを実施。

：新たな取組等　　○：取組機関

		具体的取組	東北地整	秋田県	自治体
	ハード	1）ハード対策の主な取組 ■洪水氾濫を未然に防ぐためのハード対策			
	1	＜雄物川＞ 外水、内水氾濫の防止 治水機能の強化、維持	○	○	○
		■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備			
追加	2	河川や浸水状況の監視強化及び予測の高度化	○	○	○
追加	3	排水活動に資する基盤等の充実化	○	○	○
	4	庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）	○	○	○
	動かす	2）ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導・・・【動かす】 ■平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組			
	1	タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施・タイムラインの検証及び改訂・多機関連携型タイムラインの拡充	○	○	○
	2	水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施	○	○	○
	3	水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施	○	○	○
	4	要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	○	○	○
追加	5	適切な避難行動のための地域住民への啓発の充実化	○	○	○
		■発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組			
	6	住民の避難行動に着目した各市町村のタイムラインの運用及びマイタイムラインの周知及び作成支援	○	○	○
	7	想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表 適切な土地利用の促進	○	○	○
	8	住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（メール、ラジオ、WEB・アプリ、SNS等）	○	○	○
	9	想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの周知及びまるごとまちごとハザードマップの推進	○	○	○
	10	住民の避難情報に関する意識調査などを実施し、取組方針へ反映	○	○	○
追加	11	避難を促すための避難所施設の早期立ち上げ・充実化			○
	ねばる	2）ソフト対策の主な取組 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化・・・【ねばる】 ■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組			
	1	流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制を整備	○	○	○
	2	関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施	○	○	○
	3	重要水防箇所の合同巡視、水防資機材の保有状況	○	○	○
追加	4	水害リスク情報の充実化	○		
		■既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組			
	5	既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備	○	○	
	戻す	2）ソフト対策の主な取組 ③日常生活及び社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動・・・【戻す】 ■排水活動及び訓練、施設運用に関する取組			
	1	排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画（案）を作成	○	○	○
	2	関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施	○	○	○

●新たに行う取組のポイント

【河川や浸水状況の監視強化及び予測の高度化】

- ドローンを活用した河川巡視・被災箇所・浸水状況の早期把握
- 降雨流出氾濫モデル（RRIモデル）を用いた洪水予報システムの構築・予報の高度化

【排水活動に資する基盤等の充実化】

- 排水ポンプや排水ポンプ車、堤防乗越管などの排水活動に資する基盤の整備

【適切な避難行動のための地域住民への啓発の充実化】

- 地域住民の自助・共助意識を醸成するため、防災展や防災講話等啓発活動の実施
- 地域での防災訓練、自主防災組織のリーダー育成を目的とした研修会等での啓発活動の充実化
- 他自治体での洪水被害事例も含めた過去の水害経験の共有

【避難を促すための避難所施設の早期立ち上げ・充実化】

- 大雨の予報や時間帯を踏まえ、早期の避難を促すための避難所の早期開設や、避難所を充実化
- 早朝や夜間の大雨を想定した避難所立ち上げ訓練

【水害リスク情報の充実化】

- 浸水経験が少ない箇所や内水氾濫等のリスク啓発等に資する水害リスクマップ等の水害リスク情報の充実化